

ヤマザクラ

2022 年(令和 4 年)1月 24 日(月)発行

新年にあたって

理事長 木田章一

新年明けましておめでとうございます。

いわきの森に親しむ会創立から昨年 10 月 3 日で満 20 年になりました。設立時のメンバーも少なくなってきたことから、松崎副理事長が 20 年間のあゆみを会報に掲載していますのでご覧ください。

昨年も、新型コロナウイルス感染がいわきでも拡大し、会員のみなさんも日常生活に大きく影響したものと思いますが、見たところ各班の活動については大きく影響はなかったものと思います。また、当会の活動についても感染防止対策を講じて、ほぼ予定どおり実施いたしました。

「ろうきん森の学校」は 2 期目（2015～2024 年）の 7 年目となり、2 期目の目的である「森づくり」から始めて「人づくり・地域づくり」につなげる環境教育事業をさらに発展させることを目指しています。当会も、この目的達成のため会員の皆さんとともに活動してまいります。

また、昨年 4 月より富士山麓で自然学校を長年運営している「ホールアース研究所」で 3 年間研修してきた馬場口さんが常勤職員として勤務しています。これまで更新されていなかったホームページやフェイスブックが毎日のように更新されていますので是非ご覧ください。

新年にあたり昨年の主な活動を振り返ってみたいと思います。

【6 月～】県内 8 団体で実施している「子どもが自然と遊ぶ楽校ネット」が福島県より受託している事業を本会として今年度より参加しました。毎回幼児から小学生低学年の参加があります。（年間 20 回予定中 18 回終了）

【8 月・9 月】国際ワークキャンプの支援を 2 回実施しました。

・1 回目（8/3～8/21）参加者 13 名（名古屋商科大学生）

・2 回目（8/24～9/2）参加者 8 名（日本 7 名、外国 1 名）

※国際ワークキャンプとは、世界の若者達が共に生活しながら、住民たちと森林や畑の手入れ、古民家の修理など地域で必要とされる活動に取り組む合宿型ボランティア活動。（昨年は新型コロナの影響で外国人の参加激減）

【8 月～】来年度から新たに始める「(仮称) 湯の岳自然学校」に先立ち自然学校トライアルを行いました。（年間 8 回予定中 7 回終了）

【12 月 5 日】育樹祭を開催、昨年で栗園跡地での植樹が終了したことから、植樹場所を湯ノ岳山荘バンガローの東側のナラ枯れ木の伐採跡地にクヌギ 60 本を植樹しました。

来年度から始める「(仮称) 湯の岳自然学校」は、次世代を担う子どもたちがすこやかに育つよう「森と自然を活用した保育・幼児教育」にも取り組むたいと考えています。

農業班、木工班、森林整備班、プログラム班がある中、本会発足時には一番多かった森林整備班が少なくなり活動が思うように進みません。森林整備に関心のある方を募集しております。

今年も「安全第一に楽しく」をモットーに活動していただくようお願いいたします。

【本会創立 20 周年を迎えて(2)】

副理事長 松崎和敬

〈2004 年度〉

- 4/1～ 今年度より湯ノ岳生産組合の一部手伝いの形で湯ノ岳山荘の管理を行いました。
- 4/1～3/31 湯ノ岳 観察コース整備 (134 名)
- 4/4～5/4 湯ノ岳 観察コース整備のための調査・樹木調査 (32 名)
- 4/11 21 世紀の森 自然冒険ゾーン観察会、プログラム作り勉強会 (7 名)
- 4/12～3/13 岩出 観察コース整備のための調査及び生きもの調査 (31 名)
- 4/13 川部地区 神社林コース整備 (5 名)
- 4/18、7/24、10/2、10/3、1/29
21 世紀の森自然観察会年 5 回、(クラフト・間伐体験も含む)
(参加者 663 名、スタッフ 185 名)
- 4/30 長倉小 自然冒険ゾーン自然観察会 (生徒 50 名、会員 10 名)
- 5/8～6/26 いわき自然案内人養成基礎講座 (1 泊 2 日 2 回、日帰り 4 回)
(自然案内人の基礎、いわきの自然、森林の生態と森林の働き、野鳥・昆虫観察の意義と方法) (参加者 19 名、スタッフ 47 名)
- 5/13～11/6 戸渡地区 活動拠点整備 (62 名)
- 5/15、5/20、7/3
新舞子 植樹作業・下刈り作業 (いわき市他の事業に参加 37 名)
- 5/16、8/22、11/7、2/20
暮らしの伝承郷 里山体験隊 (参加者 106 名、スタッフ下見含み 97 名)
- 5/20 湯ノ岳ファミリー緑の教室 観察会他 (参加者 40 名)
- 5/24～11/28 里地里山体験講座 (いわき市中央公民館依頼)
戸渡・岩出地区において観察会、畑作業、そば打ち体験、キノコ採り、竹林伐採等を実施 (参加者若者 77 名、スタッフ 65 名)
- 5/26～3/27 岩出地区 里山整備・畑作業 (96 名)
- 5/30 海浜自然の家 自然観察会 (参加者 53 名、スタッフ下見含む 27 名)
- 6/8、7/18、8/1、10/31
とわだ遊学の森 自然観察会 (参加者 250 名、スタッフ 33 名)
- 6/26～1/22 暮らしの伝承郷 観察コース整備 (30 名)
- 6/27 金成里山公園 ワークショップ 観察会 (参加者 36 名、スタッフ 17 名)
- 6/30～1/16 湯ノ岳 炭窯作り・炭焼き (386 名)
- 7/3～11/13 いわき自然案内人スキルアップ研修会 (10 回)
森林におけるキノコの役割、21 世紀の森のシダ植物、森林土壌、植物、地質の観察参加者 (174 名、スタッフ 18 名)
- 7/14 芝山 下草刈り (7 名)
- 7/19 戸渡観察コース視察 (磐城森林管理署担当 1 名)
- 8/25、9/26 森づくりのあり方について勉強会 岩手大山本信次先生 (参加者 49 名)
- 9/6 戸渡地区 遊学の森の土壌調査 筑波大田村憲司先生 (4 名)
- 9/12 湯ノ岳 炭焼体験講座 (会員外 38 名、スタッフ 1 名)
- 10/2 湯ノ岳 県森林インストラクターの会コース視察 (参加者 15 名、スタッフ 1 名)
- 10/15、10/27、10/28
湯ノ岳 作業機械取扱研修会 (参加者 36 名)
- 10/23 飯館村 県育樹祭 (参加者 8 名)
- 10/30 郡山「冬水田んぼ」(冬季湛水不耕起栽培) 視察研修 (4 名)
- 11/5、11/8 森林の生態系についての勉強会 古内栄一先生 (41 名)
- 12/12 湯ノ岳 竹炭作り・そば打ち体験 (24 名)

- 12/18、12/21 好間 「冬水田んぼ」(冬季湛水不耕起栽培)整備(8名)
 1/22 21世紀の森 自然冒険ゾーン相双地区森づくりメンバー視察(33名)
 2/10 21世紀の森 植生調査を踏まえた勉強会(13名)
 2/15、2/17 四倉から豊間の照葉樹林観察と調査(3名)
 2/22 檜葉南小 森林教室(生徒31名、教師1名)
 3/28 ろうきん森の学校の候補地決定の件でホールアース自然学校の担当が来訪し、湯ノ岳フィールドを視察(前号での記述は誤りで、1年ずれていました。)

〈2005年度〉

- 4/1 湯の岳山荘管理の手伝いを全面的に実施することになる。
 4/1～3/31 湯ノ岳山荘 周辺整備、山荘ぬれ縁他整備(257名)
 4/3、4/19 湯ノ岳・暮らしの伝承郷 カブトムシのすみか作り(4名)
 4/6～3/26 岩出 田んぼ・フィールド整備、畑作業・生き物・樹林・フィールド調査、樹林番号付け(423名)
 4/9～1/28 21世紀の森 自然観察会
 春 「五安のため池」(参加者63名、スタッフ下見含む47名)
 夏 「想像の森」(参加者73名、スタッフ下見含む40名)
 秋 「自然冒険ゾーン」+クラフト2日間(参加者320名、スタッフ下見含む23名)
 冬 「四季の森」+間伐体験(参加者53名、スタッフ下見含む34名)
 4/10、5/25 新舞子 植樹祭(森林管理署他)(参加者17名)
 4/16～1/29 暮らしの伝承郷 春・夏・秋・冬自然観察会(参加者61名、スタッフ下見含む76名)
 4/20、4/27、3/4 湯ノ岳 キノコ菌のコマ打ち(参加者22名)
 4/20 岩出・好間 「冬水田んぼ」中村和夫氏による現地調査と指導(参加者3名)
 4/22 21世紀の森 自然冒険ゾーン湯本一小自然観察会(生徒68名、スタッフ10名)
 4/28 21世紀の森 自然冒険ゾーン長倉小自然観察会(生徒65名、スタッフ11名)
 5/18～6/23 湯の岳 森の学校予定地(バンガロー東側10ha)の各種調査(10名)
 5/21 上三坂 いわき市植樹祭(13名)
 5/22 暮らしの伝承郷 植生調査(8名)
 5/22、9/25、10/22 好間 田植え、稲刈り、稲こぎ(20名)
 5/27 東京 労働金庫連合会創立50周年事業の一つとして豊かな森の再生、環境問題に取り組む人材育成を柱とした「ろうきん森の学校」を全国3か所に開校することを正式決定
 5/30 鮫川村 石窯設置状況調査(4名)
 6/15～7/23 湯ノ岳 石窯製作(飯館村の人達の指導)及び石窯屋根ほかの整備(指導者10名、スタッフ64名)
 6/18～11/20 いわき自然案内人養成研修会(9回)(参加者167名、スタッフ23名)
 (自然観察指導員研修、土壌観察のための指導員研修、植物観察についての指導員研修、自然観察指導員スキルアップ研修)
 6/25 湯ノ岳 緑のファミリー教室(参加者26名、スタッフ下見含む17名)
 7/18 芝山 下刈り、自然観察会(7名)
 7/28 21世紀の森 自然冒険ゾーン市内小学校教諭自然観察会(参加者120名、スタッフ15名)
 8/3 21世紀の森 自然冒険ゾーン土壌観察会(筑波大田村憲司先生)(参加者40名、10名)
 8/4 21世紀の森 自然冒険ゾーンフィールド観察(筑波大・北京大先生)(参加者13名、

	スタッフ 1 名)
8/12、8/20	戸渡 山小屋整備 (9 名)
8/19	湯ノ岳 フィールド整備についての研修 (林進先生) (4 名)
8/20	戸渡 フィールド整備についての研修 (林進先生) (3 名)
8/27、8/28	戸渡 遊学の森自然観察会 (参加者 50 名)
9/1~3/31	湯ノ岳 炭窯作り、竹炭・木炭・竹酢液作りなど (216 名)
9/29	21 世紀の森 自然冒険ゾーン好間一小自然観察会 (生徒 53 名、スタッフ 14 名)
10/15	猪苗代 県育樹祭 (8 名)
10/27、10/28	「ろうきん森の学校」開校式準備 (11 名)
10/29	「ろうきん森の学校」開校式 (2,005、2006 年度は準備期間とし 2007 年度より本格展開)
11/3	21 世紀の森 自然冒険ゾーンガールスカウト自然観察会 (参加者 25 名、スタッフ 9 名)
11/26、2/15	湯ノ岳 ろうきん森の学校行事 自然観察会、間伐体験、キノコ植菌他(参加者 105 名、スタッフ 11 名)
12/26	湯ノ岳 森の学校フィールド安全祈願 (9 名)
1/18、1/24、1/25	湯ノ岳 森の学校フィールド管理道路コース選定と整備方法調査 (7 名)
1/28	21 世紀の森 四季の森山火事跡地での枯樹間伐体験と自然観察会 (参加者 32 名、スタッフ 6 名)
2/3	湯ノ岳 森の学校フィールド整備について林進先生による現地調査と指導(8 名)
2/18	平三小の環境教育支援のためのプログラム検討会 (11 名)
2/18、2/23	四倉玉山 大野一小自然観察会 (生徒 20 名、スタッフ 10 名)
2/21	湯ノ岳 森の学校フィールド管理道路整備について (5 名)
3/18	岩出 自然保護協会メンバー指導による自然観察会 (参加者 20 名)

〈2006 年度〉

4/1	湯ノ岳山荘の管理運営について森林組合の手伝いの形から指定管理者として実施することになる。
4/1~3/28	湯ノ岳 フィールド整備 (403 名)
4/1~5/22	湯ノ岳 環境教育プログラム開発のためのフィールド整備 (19 名)
4/8、4/9	湯の岳 自然体験プログラム開発のための勉強会 (山川有正講師) (参加者 41 名、スタッフ 4 名)
4/10~3/17	湯の岳 森の学校自然体験プログラム実施 9 回(参加者 235 名、スタッフ 91 名)
4/19~3/18	岩出 フィールド整備、畑・田んぼ作業 (536 名)
4/21	21 世紀の森 自然冒険ゾーン湯本一小自然観察会 (生徒 68 名、スタッフ 9 名)
4/22~3/24	湯ノ岳 フィールド調査、樹木番号付け (91 名)
4/24~11/7	平三小 総合学習支援 (生徒 730 名、スタッフ 196 名)
4/26	21 世紀の森 自然冒険ゾーン磐崎小自然観察会 (生徒 93 名、スタッフ 16 名)
4/26~1/22	21 世紀の森 自然冒険ゾーンフィールド整備 (176 名)
5/7~2/5	暮らしの伝承郷 春・夏・秋・冬の里山探検隊 (参加者 99 名、スタッフ 39 名)
5/20	石森山 植樹 (いわき市) (6 名)
5/28	好間 田んぼ作業 (31 名)
5/29、7/9	新舞子 植樹と下刈り (森林管理署) (14 名)
5/31	藤原笠石 畑整備と作業 (177 名)
5/31、9/29、10/3、1/31	湯ノ岳 環境教育プログラム開発のための打合せ (19 名)
6/4	田人二小 親子自然観察 (生徒 80 名、スタッフ 6 名) 和尚山 自然観察会 (6 名)

- 6/14～12/23 21世紀の森 自然観察会
 春 五安溜池（参加者 32 名、スタッフ下見含む 26 名）
 夏 創造の森（参加者 23 名、スタッフ下見含む 30 名）
 秋 （2回）自然冒険ゾーン（クラフト含む）（参加者 467 名、スタッフ下見含む 44 名）
 冬 四季の森（参加者 35 名、スタッフ下見含む 32 名）
- 6/18 湯ノ岳 鮫川村親子自然体験活動支援（参加者 25 名、スタッフ 8 名）
 6/21 湯ノ岳 緑のファミリー教室（参加者 66 名、スタッフ 11 名）
 7/8、7/9、11/6 戸渡 自然観察会（参加者 135 名、スタッフ 19 名）
 7/8～2/10 湯ノ岳 自然案内人養成基礎講座（横田浩美、木幡英雄、古内栄一先生による講座）
 （参加者 161 名、スタッフ 11 名）
 7/17 芝山 自然観察会（8 名）
 8/5、11/25 湯ノ岳 錦公民館自然観察会（参加者 96 名、スタッフ 27 名）
 8/12 湯ノ岳 ボーイスカウト自然観察会・窯出し体験（参加者 20 名、スタッフ 11 名）
 8/16、8/17 湯ノ岳 山荘利用者観察会（参加者 25 名、スタッフ 4 名）
 8/26～ 湯ノ岳 炭窯関係作業（155 名）
 9/4 ホールアース研究所フィールド視察（4 名）
 9/8 湯ノ岳 小名浜二小自然観察会（生徒 98 名、スタッフ 16 名）
 9/10 湯ノ岳 小鳥の森メンバー観察コース案内（参加者 9 名、スタッフ 6 名）
 9/19 湯ノ岳 キノコ植菌（3 名）
 9/25、10/3、10/11 長倉小 学校林樹木調査（7 名）
 10/7 湯ノ岳 キノコ研修会事前フィールド調査（6 名）
 10/9 湯ノ岳 キノコ研修会（竹島先生）（参加者 21 名、スタッフ 1 名）
 10/10～10/28 川内村 森林環境ゼミナール支援（参加者 70 名、スタッフ 21 名）
 10/16 下郷町 ソバ刈り体験
 10/20 21世紀の森 自然冒険ゾーン自然保護協会講師フィールド案内（参加者 2 名、スタッフ 2 名）
 10/27 戸渡 山小屋整備及びコース整備（4 名）
 11/3 湯ノ岳 植物観察について指導者研修会（茨城大学 鈴木昌友先生）（参加者 24 名、スタッフ 1 名）
 11/5 湯ノ岳 環境にやさしいくらしかたをすすめる会のスローライフ部会自然体験活動（参加者 13 名、スタッフ 11 名）
 11/6 下郷町 ソバ打ち体験（8 名）
 11/25 暮らしの伝承郷 樹林調査（12 名）
 11/25、11/26 湯ノ岳 県自然保護協会メンバーと湯の岳エリアの合同調査及び観察会（参加者 12 名、スタッフ 17 名）
 11/21 高野小 4年生学校周辺の森で自然観察会（生徒 20 名、スタッフ 5 名）
 12/2、12/3 湯ノ岳 自然観察指導員研修会（小野木三郎、木幡英雄先生）（参加者 161 名、スタッフ 11 名）
 12/19 湯ノ岳 クラフト研修会（平沢聡先生）（8 名）
 12/26、27、28 湯ノ岳 鮫川森の学校自然体験活動支援（参加者 87 名、スタッフ 19 名）
 1/20、1/21、2/17、2/24 湯ノ岳 森づくり技術研修会（平子作磨先生）（参加者 61 名、スタッフ 17 名）
 1/27 暮らしの伝承郷 フィールド整備（5 名）
 3/7 国道 289 号線整備に伴う苗畑整備（14 名）
 3/29 湯ノ岳 県森の案内人メンバーと合同観察会（参加者 6 名、スタッフ 4 名）

【森林整備班の活動報告】

1 定例活動

今期は、前半に栗園跡地植樹場所の手入れを、後半は今年より湯ノ岳で行う植樹祭関連の作業を中心に行いました。

(R3.10.1～12.28)

月 / 日	曜日	天候	作業事項	参加者 (名)
10/2	土	晴	栗園跡地の刈払い	7
6	水	晴	〃	4
13	水	雨	道具整備	5
16	土	曇	栗園跡地の刈払い	5
20	水	晴	〃	5
27	水	晴	湯ノ岳フィールドの刈払い	6
11/3	水	晴	栗園跡地の刈払いと倉庫屋根の補修	6
6	土	晴	湯ノ岳フィールドの刈払い	8
10	水	晴	〃	4
17	水	晴	栗園跡地のクヌギの手入れ	7
20	土	晴	湯ノ岳フィールド植樹祭予定地の整備	7
24	水	晴	湯ノ岳フィールド植樹祭予定地の整備と杉林内の刈払い	8
12/1	水	雨	植樹祭の準備	2
4	土	曇晴	植樹祭予定地の整備	7
15	水	晴	伐木処理作業	6
18	土	晴	ナラ枯木プロ除伐後の伐木処理	6
22	水	晴	看板修理と道具の手入れ	8
計				101

2 定例整備以外の活動

栗園跡地について今後は植樹後の保育活動が中心となり、湯ノ岳フィールドへのクヌギの植樹を行うことにしたことに伴い、そのための準備作業を行いました。

植樹祭はバンガロー東側のナラ枯れにより伐木した場所を整備し12月5日(日)に60名の参加によりクヌギの植樹を行いました。

3 海岸林整備作業

海岸林整備活動は次のとおりです。

月/日	曜日	作業の内容	会員・未来基地	ボランティア	計
10/7	木	下刈り、補植	4	10	14
16	土	下刈	2	7	9
11/11	木	〃	2	0	2
18	木	下刈り、補植	2	11	13
27	土	〃	4	34	38
12/21	火	〃	2	8	10
		計	16	70	86

(松崎記)

【農業班の活動報告】

今期の農作業班の作業の内容は次のとおりです。

- 1 秋野菜の種まき
大根、大カブ 玉ねぎ 丸大根
- 2 白菜とそら豆の移植
- 3 サツマイモの収穫 (100 kg弱)
- 4 秋野菜の収穫
大根、大カブ、そら豆、ネギ、白菜、エゴマ (6 kg程)
- 5 来年度に向けての土づくり
寒起こし、堆肥作りのための落葉集めそれに小糠と馬糞堆肥の散布



(高桑記)

【木工班の活動報告】

今期の男性班は各種の事業における木工工作の材料の準備に忙殺され班として共通の作品はつくれませんでした。個人的に椅子を加工してロッキングチェアを製作した人がいました。

一方女性班はミニ門松を作りました。 (佐藤烈記)



【観察班報告】

- 1 10月3日(日) 八潮見城跡観察 参加者12名。
- 2 11月7日(日) 鹿狼山観察 参加者6名。
- 3 12月12日(日) 小玉ダム周辺観察 参加者9名。



【プログラム班の活動報告】

1 学校・幼稚園等の支援活動

今期は10月に6回、11月に8回そして12月に1回の併せて5回の支援を行いました。

その活動の実績は、別表のとおりです。

学校等における学習支援活動(10/1～12/28)

No.	月 日	学校等名	学年	学習	参加者数	支援者数
1	10月7日(木)	平六小	3	総合学習	42	10
2	10月15日(金)	中央台北小	4	総合学習	36	10
3	10月20日(水)	綴小	4・5・6	森林環境学習	27	9
4	10月22日(金)	錦東小	1	生活科	34	6
5	10月27日(水)	綴小	1・2・3	森林環境学習	22	6
6	10月29日(金)	錦東小	1	生活科	34	5
7	11月4日(木)	錦東小	1・園児	生活科	86	7
8	11月9日(火)	江名小	3・4	総合学習	29	8
9	11月10日(水)	錦東小	3	総合学習	28	6
10	11月11日(木)	藤原小	3	総合学習	23	10
11	11月12日(金)	綴小	5.6	森林環境学習	14	6
12	11月16日(火)	平幼稚園	年長	散策と木工	26	6
13	11月19日(金)	江名小	1	生活科	13	5
14	11月25日(木)	平六小	3	総合学習	42	9
15	12月1日(水)	江名小	1・園児	生活科	16	5
	計				139	35

その活動のようすは、次の写真のとおりです。





2 その他の支援活動

- 10月19日(火) 平労金友の会支援
参加者 28名 支援者 7名
- 10月28日(木) いわき市職員退職者会支援
参加者 26名 支援者 12名
- 11月27日(土) クリナップ労組支援
参加者 27名 支援者 11名
- 11月28日(日) 下湯長谷子供会支援
参加者 31名 支援者 5名

(佐藤 烈記)

【ろうきん森の学校の報告】

1 令和3年10月17日(日) (天候・雨のち晴)

(1) 実施内容

- ① 自然観察会 ② 自然体験活動 ③ 木工クラフト

(2) 参加者数 29名

(3) 実施結果

今回の自然観察会は「ドングリころころ」というテーマで雨模様のなか行われました。

自然体験活動では五月に植えた「すずほっくり」という品種のサツマイモ掘りを行いました。子供の頭ほどある丸いものがたくさん採れ



ました。木工クラフトでは輪ゴム鉄砲を作りました。昼食は笠石の畑で採れたサツマイモの料理が提供されました。

2 令和3年11月21日(日) (天候・晴のち雨)

(1) 実施内容

① 自然観察会 ② 自然体験活動 ③ 木工クラフト

(2) 参加者数 37名

(3) 実施結果

今回は軽トラック4台分の落葉を集めたプールで宝探しをして遊んだ後、紅葉の美しい森の中を歩きました。その後、観察しながら採取したいろいろな色や形落ち葉を使って、来年のカレンダーを作りました。



3 令和3年12月19日(日) (天候・晴)

(1) 実施内容

① 自然観察会 ② 自然体験活動 ③ 木工クラフト

(2) 参加者数 49名

(3) 実施結果

12月は例年あるものを求めて多くの人が集まります。今回の自然観察会は三班に分かれてふわふわな落葉で覆われた森歩きを楽しみました。子どもたちはそば打ち体験に挑みました。結構様になっているようでした。

木工クラフトでは、アケビ蔓にシダローズ、松ぼっくり、赤く色づいたカラスウリなどをまきクリスマスローズを作りました。出来上がりを見ると見な個性豊かなものでした。

昼食はお待ちかねの年に一度のざるそばです。



(佐藤 烈記)

【子どもの冒険ひろばの報告】

「子どもが自然と遊ぶ楽校ネット」主催の冒険ひろば。基本的に3名体制で、子どもや親子の遊びのお手伝いや安全管理をしています。

コロナが落ち着いてきた頃から参加者も増え、芝生広場を思いっきり走り回ったり、木登りにチャレンジしたりと、元気な声が響いています。

また、スラッグラインやターザンロープなど新しい遊具も加え、リピーターの子どもたちも飽きずに楽しめる工夫もしています。

今期は10/2、10/9、10/16、10/23、10/30、11/6、11/13、11/20、11/27、12/4、12/11、12/18の各日曜日、午前は10:00~11:30、午後は13:00~14:30まで12回実施しました。

その様子は次の写真のとおりです。





(馬場口記)

【湯の岳自然学校トライアル】

湯の岳自然学校（仮称）トライアル

前期8月に続き10月10日（日）と11月7日（日）の2回湯の岳自然学校トライアルを行いました。

以下にその実施状況を報告します。

10月10日（日）9：30～12：00

参加者2組6名

この回は、初参加の4人家族の班と1回目にも参加した男子とその母の2人の班に分け、初めての班はコースをゆっくりと散策し、「いろいろおもしろいものを見つけよう」とふだん目にしないものを家族全員でじっくり観察しました。途中では地層の見えるポイントでその構造を学習しました。またバンガローの軒下のウスバカゲロウの幼虫の巣いわゆるアリジゴクを見るととても興味を持っていました。

一方、リピーター班は前回は踏まえ土壌のなかがどうなっているかに注目し、落ち葉めくりをし、その下の土壌を掘り、その色、粒の大きさそれになお、手触りを体感してもらいました。

またバンガローの軒下のアリジゴクの巣ももう一方の班と一緒に見ました。

11月7日（日）9：30～12：00

参加者1組2名

今回は3回目となりますが、参加者は第1回、第2回にも参加していて地層の観察や、落ち葉めくり、その下の土壌の観察をすでに経験していることから、今回は森林の機能として最も重要なものの一つといえる水源涵養について体感してもらうための実験を行いました。

すなわち腐葉土が厚く積もった斜面と表土を削った斜面とを用意し、そこに水をかけ自然の降水の状態を再現しその水の行方を観察します。

この実験の前にひと工夫します。すなわち参加者にどのような結果になるかその根拠も含めて仮説を立ててもらいます。

今回は残念ながら予想は外れてしまいましたが、貴重な体験をしたようです。

また、晩秋なのでたくさんの果実が見られることからドングリ、ガマズミ、それにミズヒキの小さな果実などを見つけ、これらがどのように運ばれていくかその生き残り戦略を考えてもらいました。

次回は2月の予定ですが、また参加したいと言ってくれました。リピーターになっていただくことが私たちにとって一番うれしいことです。

(佐藤 烈記)

【自然案内人養成講座記載報告】

去る11月6日（土）、7日（日）それに13日（土）の3日間自然案内人養成講座が開催されました。

講座には6名の方が参加され、下に示す日程表に従い、講義や野外活動の実習に取り組んでいました。

今年は今年度から活動に参加している馬場口さんに3年間ホールアースで培ったプロのガイドのスキルをみせていただきました。

また吉田真弓先生には小名浜と札幌それに鹿児島それぞれの50年前と現在の降水量と気温を月別にプロットする図を作成する実習を行い、温暖化やそれに伴う降水量の変化等データに基づいた議論が重要であることを教えられました。

令和3年度いわき自然案内人養成基礎講座日程表				
	時間	メニュー	講師等	内 容
11月6日(土)	9:00	オリエンテーション	佐藤 烈	挨拶と日程説明
	9:20	講義①	佐藤 烈	楽しい自然体験を目指して。
	10:30	野外活動①	吉田良子	当会員による湯の岳山荘周辺の案内を体験する。
	12:00	昼食		
	13:00	講義②	富田明雄氏	いわきの地質と土壌の基礎を学ぶ。
	16:00	終了		
11月7日(日)	9:00	前回の振り返り		
	9:20	野外活動②	馬場口勝彦	当会会員から種々のアクティビティを学ぶ。
	12:00	昼食		
	13:00	講義③	吉田真弓氏	いわきの植生の基礎を学ぶ。
	16:00	終了		
11月13日(土)	9:00	前回の振り返り		
	9:20	野外活動③	會田のり子	農業体験をしてみる。
	10:45	野外活動④	佐藤勝美	木工クラフトを楽しむ。
	12:00	昼食		
	13:00	講義④	佐藤 烈	安全な自然体験活動のために。
	15:00	振り返り・ティータイム	佐藤 烈	当会の活動紹介と懇談
	15:30	終了		



(佐藤 烈記)

【第7回植樹祭】

12月5日(日)、好天の中、会員や地元のボーイスカウト、一般の参加者含め約60名が参加して植樹祭が行われました。昨年までは、栗園跡地で行われていましたが、栗園跡地の整備が終わり、今年は、バンガロー奥の東側斜面で行われました。元県林業試験場の今井先生から植え方を教わった後、家族や仲間が協力しながら、クヌギの苗60本を植えていきました。今井先生のお話では、8~9年後には活用できるほど生長する見込みとのこと。参加者は、自分が植えた木を愛おしそうに見ていました。



(馬場口記)

【林研グループ報告】

木工工作

- 1 10月10日(日)
大人は子ども用ベンチを製作し、子どもは木の枝貼り付けを行った。
参加者 12名 スタッフ 4名
- 2 12月12日(日)
大人は正月に向けミニ門松を作り、子どもは木の枝貼り付けを行った。
参加者 22名 スタッフ 7名

自然観察会

- 1 10月17日(日)
湯ノ岳秋の観察会 参加者 7名 スタッフ 2名
- 2 12月19日(日)
湯ノ岳冬の観察会 参加者 8名 スタッフ 1名



【巣箱設置しました】

昨年春に製作した巣箱6個を小鳥の営巣時期前にと去る12月9日(木)に設置しました。設置場所は山荘わきの斜面と上の駐車場それに広場周辺です。暖かくなったら小鳥が出入りしているかちょっと目をとめてください。(佐藤 烈記)



編集後記

今から 40 年前の 30 代のころの話です。丸谷オ一が書いた「文章読本」のなかで自分の文章が某大学の入試問題に使われたときのことを書いています。

その問題は長い文章の中の棒線の部分が筆者のどのような心情を表したのか 4 つの選択肢から選びなさいというものだったそうです。それを丸谷オ一がこれぞと選んだらなんと間違いとされたものだったということです。

当時の私はこの話を読み「正しいって何だろう」と思いました。

今は当時より多くのことに対して正しいといえるものは少ないのではないかと考えています。なぜなら 20 世紀から現在までの学問の進歩というか変化は、これまでの歴史のなかでも速くて大きいと考えているからです。

例えば哲学や思想等の人文科学も幅広く発展していますし、物理学も素粒子論や宇宙論がどんどん新しい理論と発見で速い展開をしています。

生物学の世界でも機器の発達による化学的な知見の集積と DNA の発見を初めとする分子生物学が 20 世紀後半から恐ろしい勢いで進んできました。昔はその姿、形や性質等形態学的に見てなされてきた分類が、今は 18rRNA というリボソームの塩基配列で系統樹が作られるようになってきました。これらの進歩によりいろいろなものが書き換えられています。10 年前の知識は正しいかとても怪しい時代です。

このような時代にこれから生きていく若者に私たちは何を渡すことができるのでしょうか。今までのように明日変わるかもしれない知識を伝えていくことで良いのでしょうか。

私は次の二つを考えています。

まず第一には批判的精神を持ってもらうこと。20 代のころ国語教育の高いレベルのものは批判読みだとなる本に書いてあったのを覚えています。本を読むとき、論旨がしっかりしているか、飛躍がないか、ほころびがないかしっかりと抑えて読むのが批判読み、話を聞くとともにこの精神で。

二つ目は自ら考える習慣を持ってもらうこと。これは初等教育の世界では「調べ学習」、高等教育では「アクティブラーニング」にあたります。文科省でも既存の知識を暗記させるこれまでの教育では、他の先進国から置き去りにされると考えているようです。

今年 4 月から始まる「(仮称) 湯の岳自然学校」においてもこの二つの考え方を取り入れ教えてもらう受け身型ではなく、積極的に関わる魅力ある自然体験活動を工夫していきたいものです。

紙面構成については見苦しい点もあろうかと芋いますがご容赦願います。

(発 行) NPO 法人いわきの森に親しむ会

(発行責任者) 木田章一

(事務局) 〒972-8326 いわき市常磐藤原町湯ノ岳 2
湯ノ岳山荘内

TEL/FAX 0246-44-3273

E-mail: yunodake@gray.plala.or.jp

HP: <http://iwaki-mori.jimdo.com/>